

参 考 手 本

雲過ぎて禅意を知る

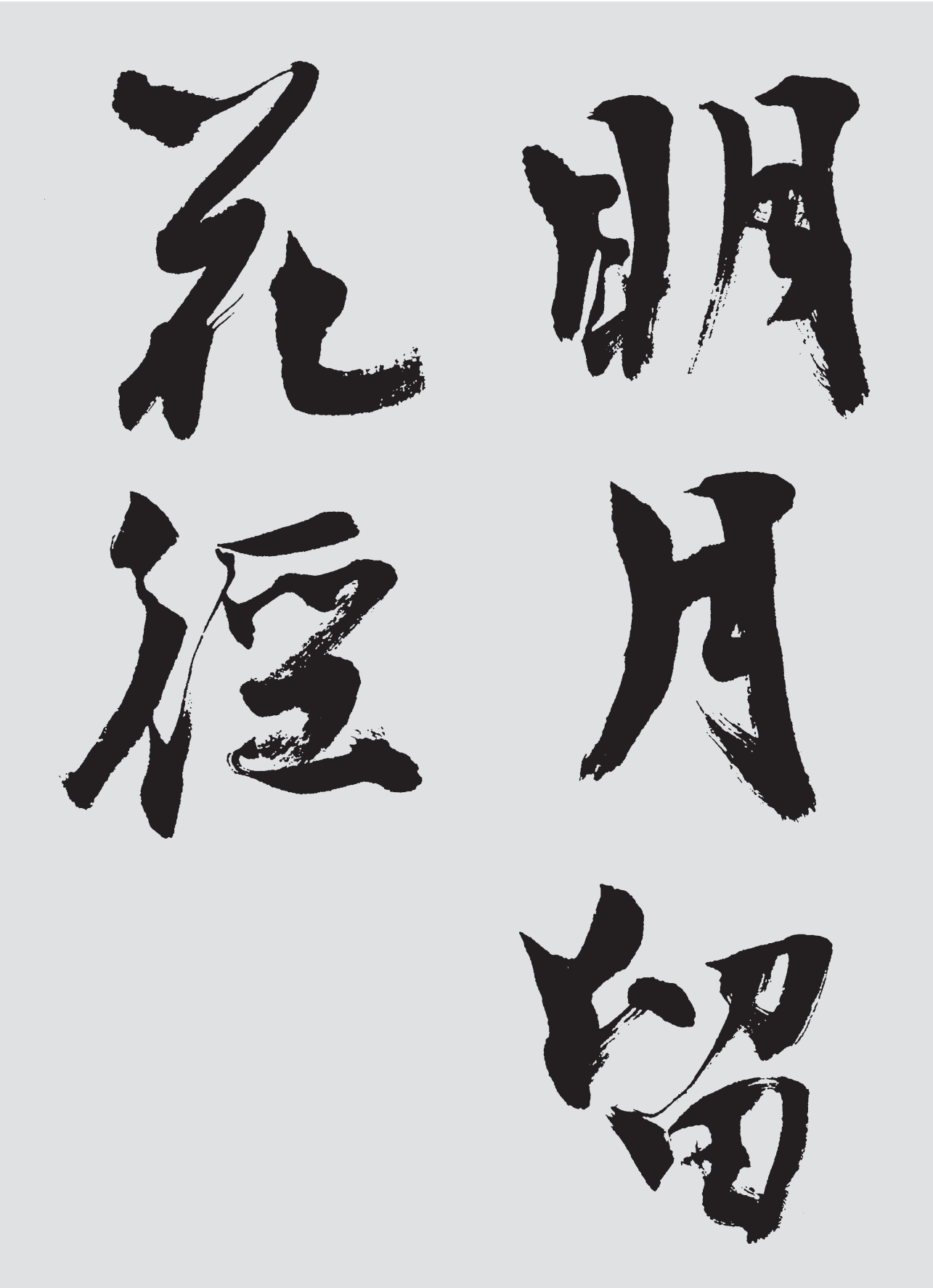
雲 過 ぎ て 禅 意 を 知 る

成 瀬 映 山 先 生

※これは規定課題ではありません。

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



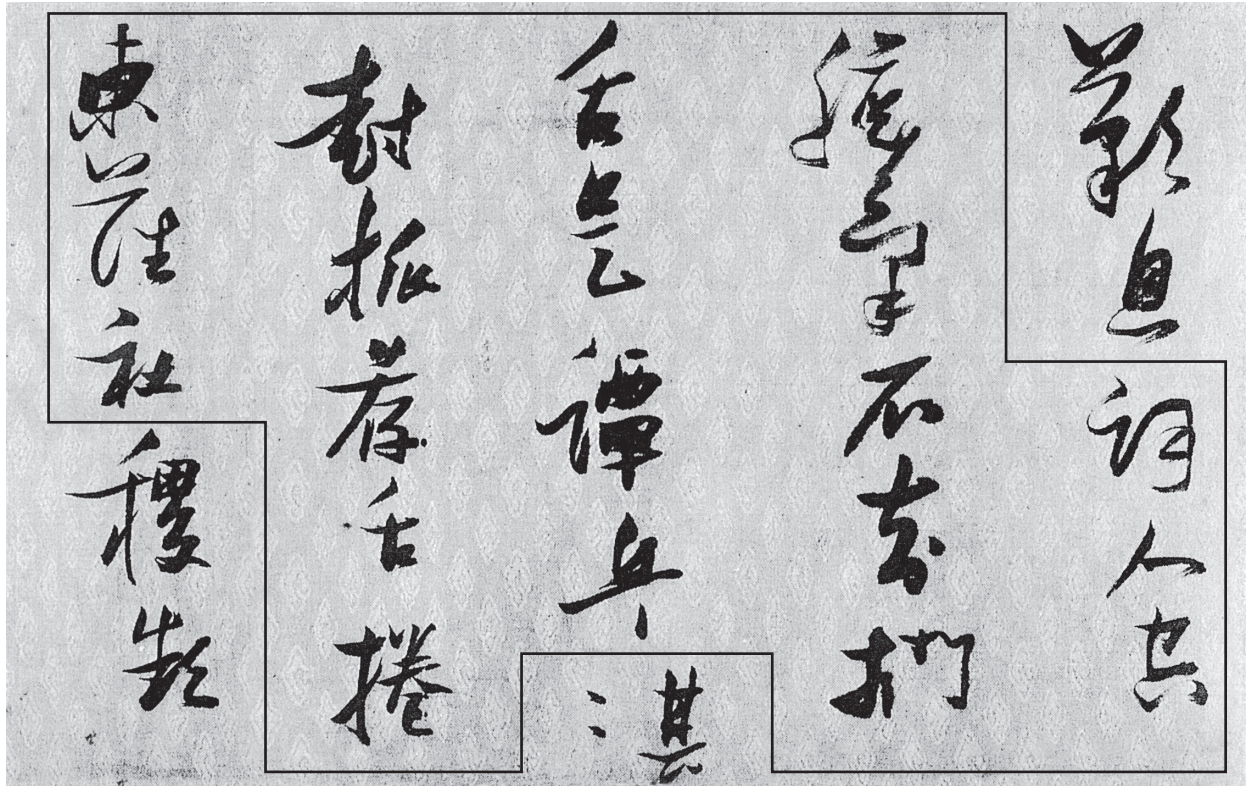
明日花徑を留む

高木聖雨先生

条幅規定

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)



封狐荐舌捲

張瑞函 (明) 『感遼事作六首卷』⑥

(歎息) 詞人空 膽氣不知捫

舌是譚兵 (其二) 封狐荐舌捲

東藩社稷

(歎息す) 詞人は胆氣に空しきを

舌を捫^{おさ}うるを知らず 是れ兵を譚^{かた}る

封狐^{ふうこ} 舌を荐^{かさ}ねて 東藩を捲^まき

社稷^{しゃしやく} (年^{ねん})

歎息する、文人は胆力のなくせに、
口を慎むことを知らずにただ兵を語ることを。
大きな狐が舌なめずりをして東国を席捲し、
国家は毎年、

【今月の課題】

「詞人空膽氣不知捫舌是譚兵封狐荐舌捲東藩社」(20字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く
段・級を記入してください

(11月10日締切)

条幅規定

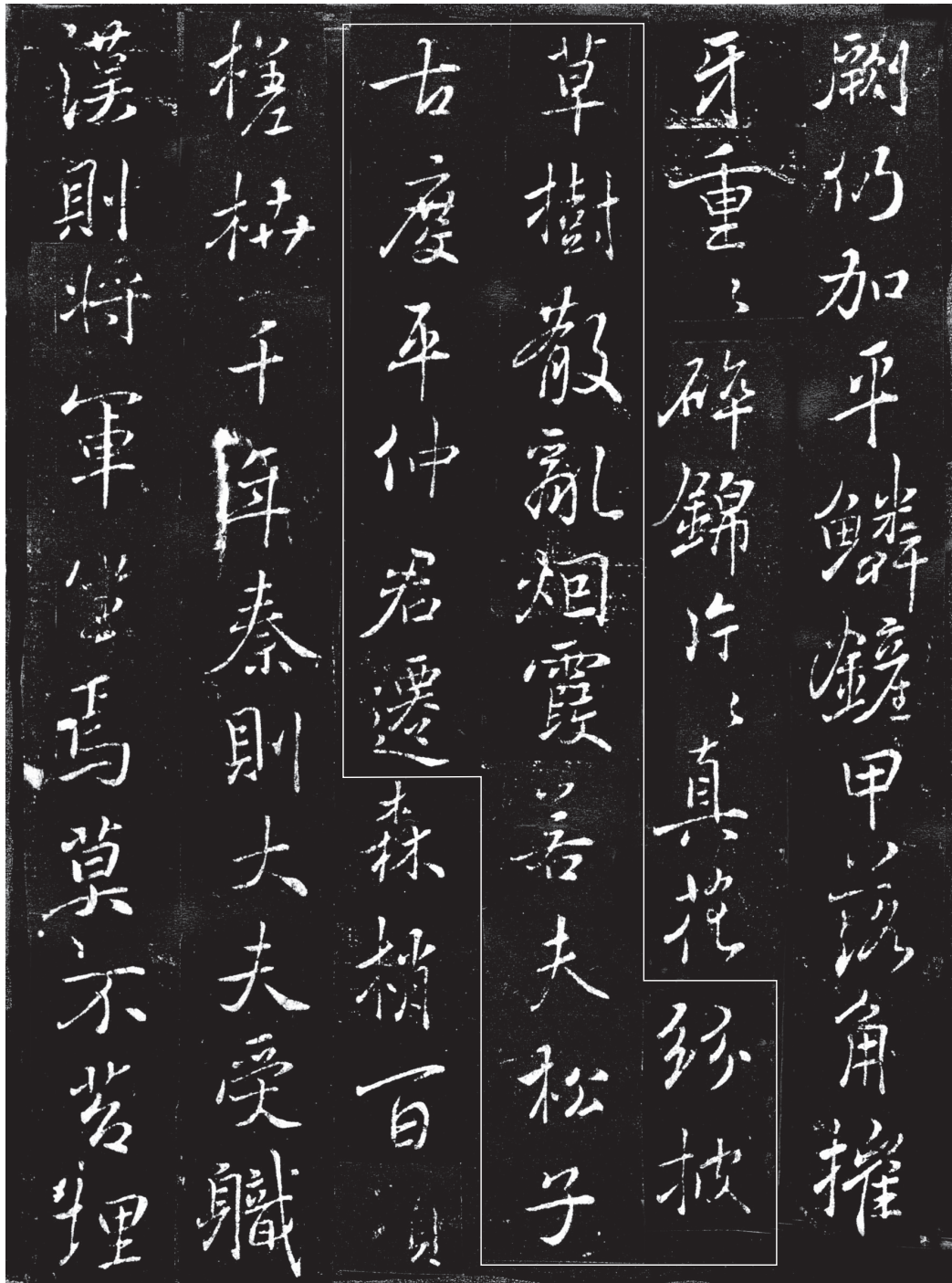
C部 (二段以下)

『枯樹賦』

褚遂良

(唐)

⑪



【今月の課題】 「紛披草樹散亂烟霞若夫松子古度平仲君遷」 (18字)

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

剗仍加。平鱗鏝甲。落角摧
 牙。重重碎錦。片片真花。紛披
 草樹。散亂烟霞。若夫松子。
 古度。平仲。君遷。森梢百頃。
 榱桷千年。秦則大夫受職。
 漢則將軍坐焉。莫不苔埋

剗仍りて加え、鱗を平らげ甲
 を鏝り、角を落とし牙を摧き、
 重々たる碎錦、片々たる真花、
 草樹に紛披し、烟霞に散乱す。
 夫の松子、古度、平仲、君遷の
 若きは、森梢百頃、榱桷千年な
 り。秦には則ち大夫職を受け、
 漢には則ち將軍焉に坐す。苔埋
 め

(11月10日締切)

半紙規定 (二)

湛恩 萬物同

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔二級以下〕楷書

・万物を潤生するは、湛恩の(竭きざるに)同じく

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

萬物同湛恩

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

明に郷いて治め、恵は沾握す。

半紙規定 (一)

惠 郷 沾 明 治

曹全碑 (漢・作者不詳)

郷明治惠沾

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(11月10日締切)

条幅参考手本

天寒吹琪樹
幻出冰雪姿
虛庭落寒影
夜半月明時

庭落寒影
夜半月明時

鈴木 翡翠 惠 先生

天寒吹琪樹 幻出冰雪姿 虛庭落寒影 夜半月明時
天寒く琪樹を吹き 幻出づる冰雪の姿 虚庭に寒影落て 夜半月明の時

雁飛浦上雲
鴉掠湖上水
滿地夕陽多
知是枚皋里

雁は飛ぶ浦上の雲 鴉は掠む湖上の水 满地夕陽多く 知る是枚皋の里

渡 辺 小 逕 先生

雁飛浦上雲 鴉掠湖上水 滿地夕陽多 知是枚皋里
雁は飛ぶ浦上の雲 鴉は掠む湖上の水 满地夕陽多く 知る是枚皋の里

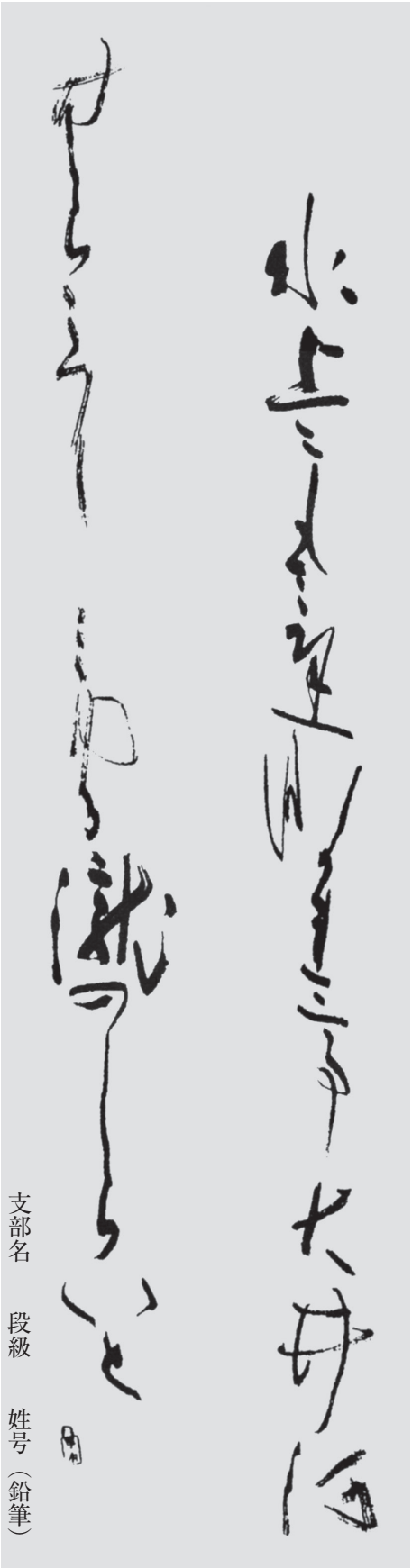
条幅参考手本



細野江華先生

馬上青年過 時平白髮多 殘軀天所許 不樂復如何
 馬上に青年過ぎ 時平にして白髪多し 残軀天の許す所ろ 樂まずんば復如何

条幅かな



浮乗清郷先生

水上にもみぢながれて大井河むらごに見ゆる滝のしらいと (藤原頼宗)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

支部名 段級 姓号 (鉛筆)

(11月10日締切)

半紙かな（1級以下）

よろこばしきりに落つる木の実かな（富安風生）
遍八起利耳

よろこばしきりに落つる木の実かな

支部名 級 姓 号 (鉛筆)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

さりとともと思ひし人は音もせで萩の上葉に風ぞふくなる（三条小右近）
利母登於日盤勢帝手二曾布那

さりとともと思ひし人は音もせで萩の上葉に風ぞふくなる

支部名 段 姓 号 (鉛筆)

船久保 棠苑先生

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(11月10日締切)

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

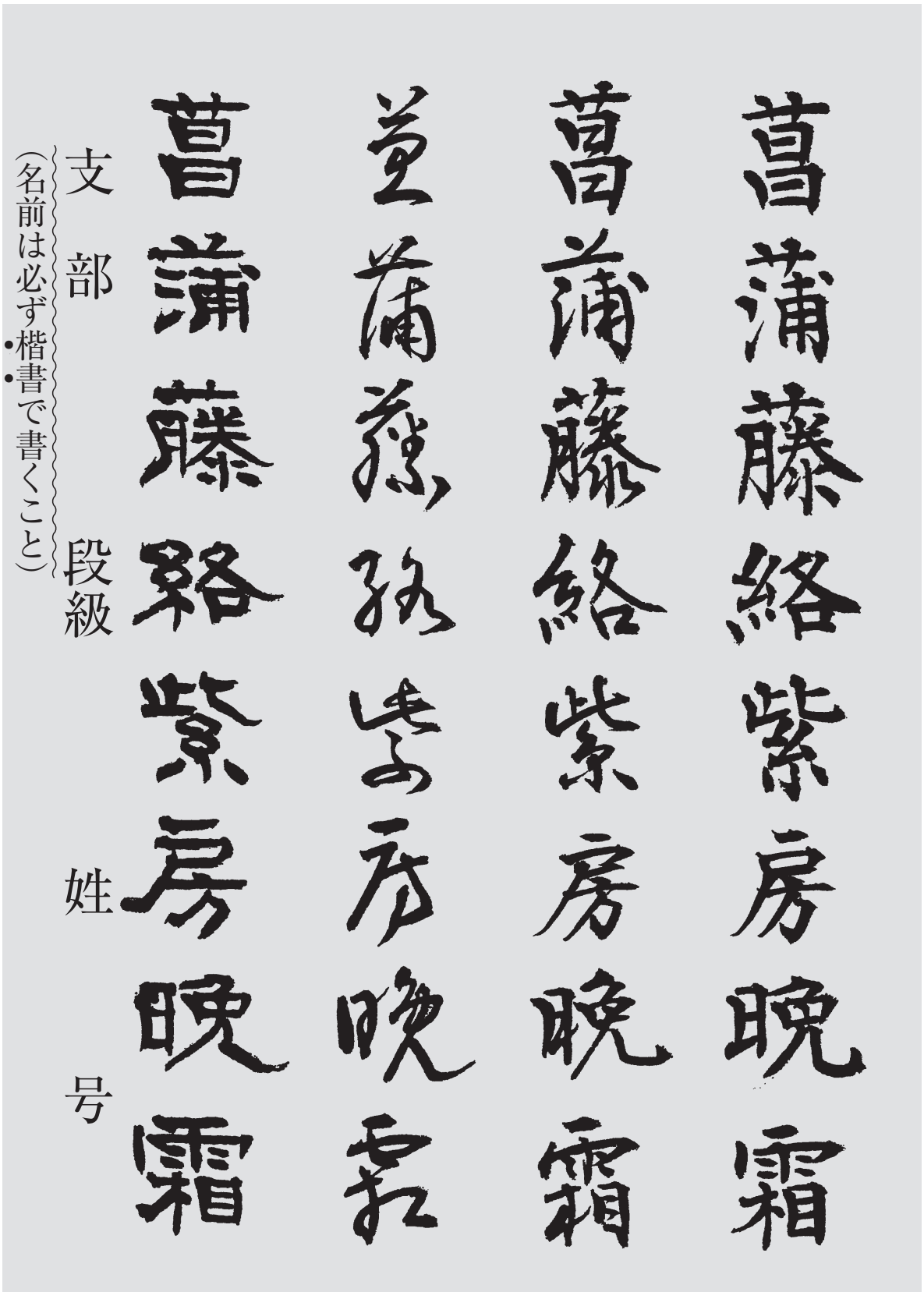
昔から手習いといふは「永字八法」
 手本といふは千字文といわれます。
 千字文は書を学ぶ人が一度は
 通らねばならないものです。

支部名 級級 姓号

石田輝仙先生

(11月10日締切)

細 字



支 部

段 級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

紫^し藤^{とう} 絡^{らく} 房^{ぼう}
藤の木がからみつく。
紫色の花ぶさ。

硬筆（1級以下）

2行、楷書

支部名
 級
 姓
 号
 夜空に輝く月は、昔から人々の
 生活に深く関わってきました。

齊藤 翦流 先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

書道初心者は手本の選擇も一つの
 関門といえる。臨書の練習に選擇
 を誤ると鮮やかな回り道となる。
 支部名
 姓
 号

…選擇（択）…臨書…餘（余）計な…。

青柳 江雲 先生

※本院定型用紙・たて半分を書く

(11月10日締切)

中2用

支
部
名
計
台

段
級
白
い
時

名
前

渡邊南嶂先生

中3用

支
部
名
術
祭

段
級
秋
の
芸

名
前

大越三宗先生

小6用

支
部
名
伝
古

段
級
統
い

名
前

渡邊南嶂先生

中1用

支
部
名
創
造

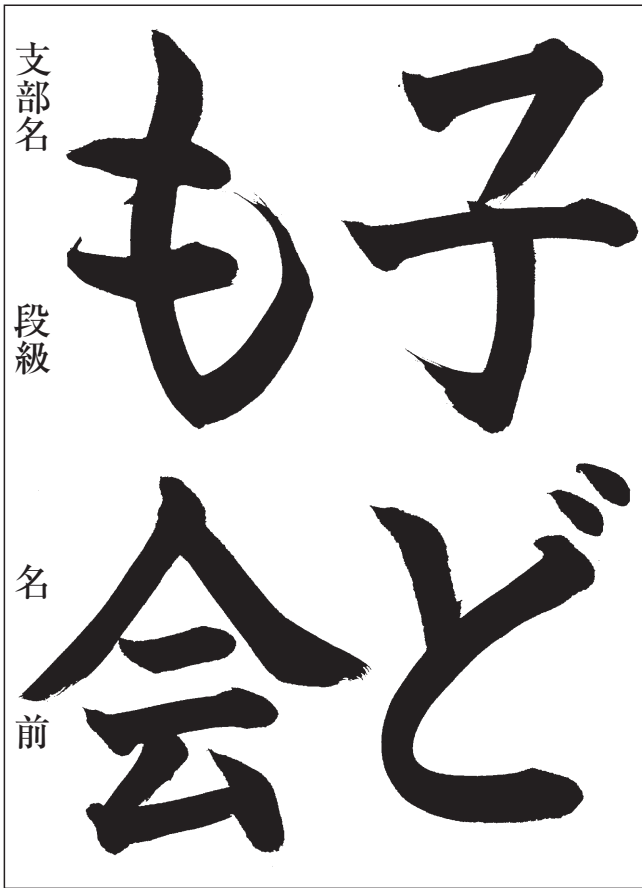
段
級
文
化
の

名
前

渡邊南嶂先生

(11月10日締切)

小4用



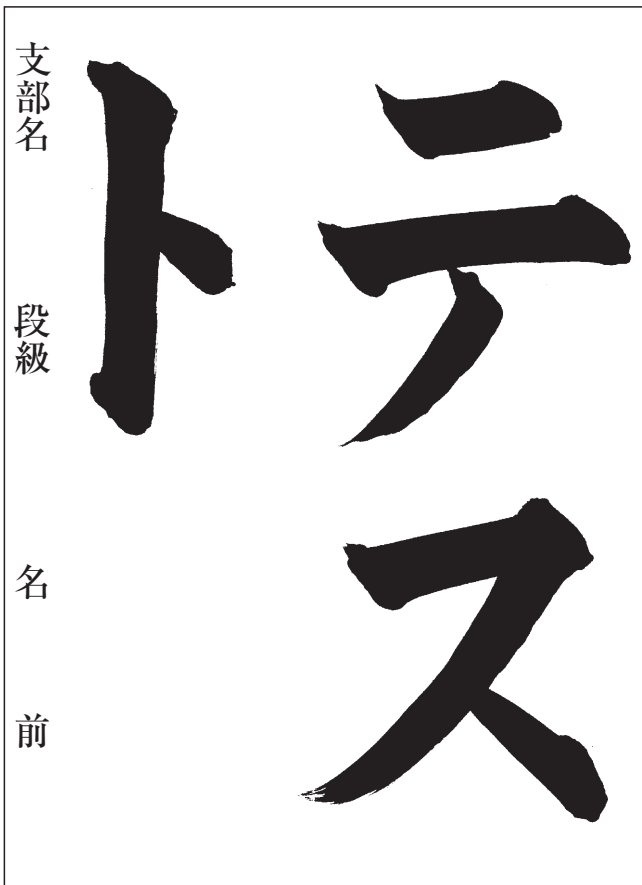
大越三宗先生

小5用



大越三宗先生

小2用



鈴木翫恵先生

小3用



鈴木翫恵先生

(11月10日締切)

中1

一番美しく感じられる。日本の四季では、秋が

中1~中3

中2

十月は、暑くも寒くもない。過ごしやすい季節。

青柳江

中3

星空を見上げて、広大な宇宙の神秘を思う。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

七か

鈴木 恵 先生

小1・幼年

ひそらは、あおく、くもひとつない。

小1~小3

小2

白いくもが、あきの空にうかんでいた。

田辺 翠

小3

夕日が西の山を赤くそめてしずみます。

鶴先生

小4

山の木が色づき、秋もいよいよ深まった。

小4~小6

小5

昨夜の雨が残した水たまりに、光がきらめく。

齋藤 翡翠

小6

晴れ後くもり。秋の空は変わりやすい気候だ。

流先生

(11月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名 段級 名前前

赤とんぼの
大行進

主幹 菅野翠濤

支部名 段級 名前前

雲の先がゆり 秋の
ふるさと
はくれ

船久保 棠苑先生

(11月10日締切)

12月10日締切課題予告

A B部条幅規定 稷頻年塵至尊豈謂登壇推國士但憑佩劍答君恩

C部条幅規定 森梢百頤×檣檣千年秦則大夫受職漢則將軍坐

かな条幅規定 秋の色をはらひはててや久かたの月のかつらに木枯の風(藤原雅経)

半紙規定(初段以上) 渥吏樂政民

半紙規定(二級以下) 之不竭將玄

半紙かな(初段以上) 霜枯れはそことも見えぬ草の原たれに問はまし秋の名残を(藤原俊成女)

半紙かな(二級以下) 渡り鳥どりかすかに見えて過ぎてゆく(星野立子)

12月10日締切学生部課題予告

中三規定 遠山の雪景

中三硬筆 登場人物の気持ちを理解しながら物語を読む。

中二規定 新雪の連山

中二硬筆 紅葉の名所は、山地の溪谷や湖畔などに多い。

中一規定 美しい星空

中一硬筆 不断の努力ですばらしい記録を樹立したのだ。

小六規定 宇宙の旅

小六硬筆 この料理は、野菜も肉も入って栄養たっぷり。

小五規定 初冬の空

小五硬筆 校庭のいちようが、金色にかがやく季節です。

小四規定 美しい月

小四硬筆 急に寒くなってきた。みんな元気ですか。

小三規定 冬のそら

小三硬筆 強い北風が、ヒューと、うなっています。

小二規定 ピエロ

小二硬筆 おちばを一まい本のあいだにはさみました。

小一規定 ゆき

小一硬筆 おばあちゃんは、あささんぽをします。

小学部小筆 寒い空 北風ふく